

2015 年度第 1 回執行理事会議事録

期 日：2015 年 6 月 6 日（土） 13:00～17:00

場 所：地質学会事務局

出席者：山本副会長 渡部副会長 齋藤常務理事 海野 緒方 杉田 竹内 廣木 保柳 山路 オブザーバー：佐々木

（事務局）橋辺

欠席者（委任状提出あり）：井龍会長 ウォリス 坂口 中澤 平田 星 松田

*定足数（12，委任状含む）に対し，出席者 10 名，委任状 7 名，合計 17 名の出席.

*前回議事録の承認

I 審議事項

1. 「125 周年を迎えるにあたって」文章を承認
2. 選挙管理委員の選出：7 月に第 1 回の管理委員会開催予定
候補者：未定（応用地質），金澤直人（中央開発），高橋 聡（東大），佐藤大介（GSJ），
未定（JAMSTEC？）未定者については，確認中.
3. 理事の欠員補充に関する選挙規則第 5 条 10 項の改正について検討について，
法人法第 63 条 2 項に基づき，当選者ととも補欠者の扱いについても総会での議決事項として，欠員補充に際しては改めて総会の議決を要しないこととする. これにより，検討中の選挙規則第 5 条 10 項は条文改正を要しない. この方針を了承し，条文についての詳細はさらに検討することとした.
4. 年会においてキャンセルした講演の，次年度以降の年会での再申込の可否について.
申し込みを受け入れ，今回の要旨に昨年キャンセルした旨を明記させる. 今後はキャンセルされた講演の要旨を J-STAGE にアップロードしないことにする. また，地質学雑誌にキャンセルされた講演のリストを掲載する.
5. 一家に 1 枚のポスター案について
ポスター案を検討し，昨年の評価結果を踏まえ，修正して再提出することを広報委員会に伝えることとした.
6. その他
 - 1) 他団体から共催・後援の依頼を受ける場合にそなえ，申し込み用書式を今後整備することとし，また，事後報告を求めることにする. 学会が依頼をする場合にも同様の手続きとする.
 - 2) 巡検案内の原稿を，地質学雑誌の通常号に分けて掲載してよいことにする. 「オンライン用 PDF カラー図表の差替」に要する費用（5000 円/論文）は，今回の年会については地質学会が負担する.
 - 3) 論文の書き方（著作権のコンプライアンス等について）に関するセミナーを年会で開催する方向で，行事委員会が検討することにした.

II 報告事項

1. 全体的報告

1) 125周年記念事業内容・事業スケジュール等の確認(佐々木)

125周年記念事業実行委員会の佐々木理事からこれまで検討した事業計画、予算案ならびに今後のスケジュールなどについて、詳細な説明をうけ、概ね了承した。

2) 経産省から、地層処分についての意見募集を会員に周知方要請があり、geo-flashでの広報を了承した。

2. 運営財政部会：総務委員会 (緒方)

<共催・後援依頼、他団体の募集等>

- ・尾瀬保護財団より「第19回尾瀬賞および尾瀬奨励賞」の募集(4/1-8/31まで)→News誌、HP、geo-flashに掲載。第18回の受賞者表彰式は6/8(都道府県会館、千代田区)において開催。
- ・文部科学大臣表彰科学技術賞、若手科学者賞推薦依頼(締切7/27、学会締切7/17)詳細は文科のHP参照。→News誌、HP、geo-flashに掲載
- ・新潟大学学術情報基盤機構旭町学術資料展示館より企画展示「殻が作る世界」(7/11-8/28)の後援依頼→承諾
- ・日本地下水学会よりシンポジウム「地下水の保全、涵養及び利用に関する法制化に向けた現状と課題」(7/4、日大)の後援依頼→承諾
- ・三浦半島活断層調査会より地質の日記念「城ヶ島観察会」の報告。参加者18人。

<会員>

1) 今月の入会者(10名)

正会員(1名)：坂口 巧

正(院割)会員(8名)：山田英明、葛原弘毅、鎌田隆史、橋本雄介、一野亘生、内門亮、宮田浩之、津留ありさ

正(学部割)会員(1名)：太田明里

2) 今月の退会者(正会員1名)

島野恭史

3) 今月の逝去者 なし

4) 2015年5月末日会員数

賛助：28、名誉：62、正会員：3660(正会員：3558、院割会員：99、学部割会員：3)

合計 3750(昨年比 -82)

<会計>

特になし

3. 広報部会：広報委員会(坂口・松田)

・文科省より、平成28年の科学技術週間に向けて一家に1枚のポスター募集があった。応募準備中。昨年の評価結果を踏まえ、修正して再提出する。

4. 学術研究部会(ウォリス・竹内・中澤)

(1) 行事委員会(竹内)

1) 2015年長野大会

・巡検の見どころ記事依頼

・アウトリーチセッション(ポスター)の会場と掲示日

2) 2016年学術大会(日大)略称について→大会のタイトルを「東京・桜上水」とする

3) 2017 年学術大会（愛媛）と鉱物科学会共催の公算大，日程は 9 月 16～18 日の模様

4) 2018 年学術大会（北海道・東北支部）開催地検討依頼（7 月中までに）

(2) 国際交流委員会（ウォリス）

(3) JIS，標準担当（中澤）

・層序単元登録審査委員会は委員に作業内容（各雑誌で提唱された地層名の登録依頼）を周知し，現在は産総研側で登録体制を整えている。

(4) その他

・環境地質部会の巡検開催

「関東地下水盆と人口地層の地質環境巡検-INQUA 第 19 回大会記念」：2015/8/4-5，東京周辺及び千葉県内各所 → geo-flash 掲載

5. 編集出版部会（山路・海野・保柳）

(1) 地質学雑誌編集委員会（山路）

1) 編集状況報告（6 月 5 日現在）。

・2015 年投稿論文 総数 31 編 [総説 1（和文 1）・論説 14（和文 12，英文 2）・報告 5（和文 3，英文 2）・ノート 1（和文 1）・口絵 2（和文 1・英文 1）・巡検案内 8] 昨年比—9

・査読中：25

・受理済み：6（うち巡検案内 5）

・121 巻 5 月号：通常号（報告 2，口絵 1：約 13 頁）5/22 校了，6/1 発送済み

・121 巻 6 月号：通常号（報告 3）入稿中

(2) アイランドアーク編集委員会（海野）

1) 編集状況

・Vol. 24 Issue2（2015 年 6 月）：Island Award，一般原稿 8 編，Rehman 特集 1 編，Carbonate 特集 1 編を掲載予定

2) オンライン投稿の状況

・過去半年（2014. 12. 5～2015. 6. 5）の投稿数 63 件。うち新規投稿 54 件。

（特集号の原稿投稿により，新規投稿数が増加）

3) 5. 25 編集委員会（in 連合大会）より

・WEB サイトで Graphical Table of contents（Island Arc トップ画面の最新号の紹介を，図と簡単な紹介文を入れた Pictorial なものにする）を採用。実施済み

・各協賛学会への出版論文案内に関するバナー・リンクについて，あらためて協賛学会へ掲載等の確認を取り進める予定。

・来年から校正が完了した時点で論文をオンライン公開し，隔月 6 号にする。

(3) 企画出版委員会（保柳）

・『長瀬たんけんマップ』の最終原稿が提出された。対象とする読者のレベルを考慮して，大幅に改訂してもらうことにした。

6. 社会貢献部会（平田・杉田・廣木）

・地質地盤情報活用促進協議会，地質地盤情報活用検討委員会（松浦委員）の議事録の紹介があった。

7. 地学オリンピック支援委員会（平田）

・地学オリンピック日本委員会から 2014 年事業報告・決算ならびに 2015 年事業計画・予算案，

三重大会の現況報告があった。三重大会の寄付金については、目標 2400 万円に対し、200 万円不足で募金継続。

8. 地質技術者教育委員会（山本）

5/26 の JABEE 総会への参加報告。

9. 中期ビジョン委員会（坂口）

理事会の意見を受けて全体の構成を修正中。

以上

2015年7月25日

一般社団法人日本地質学会執行理事会

会 長（代表理事）井龍康文

署名人 執行理事 齋藤 眞